

～リハビリ通信～



12月の調理教室でクリスマスケーキを作りました。事前のミーティングでは材料やレシピをメンバー同士で話し合い、決めて行きました。実習当日は協力し合いながら楽しく行い、素敵なデコレーションケーキが完成しました。



お知らせ

○面会についてのお願い

発熱、咳、腹痛、下痢、嘔吐の症状がある方、体調の優れない方の面会は、お控えください。また、感染予防として、受付窓口・病棟入口に消毒用アルコールをご用意しておりますので、面会の前後にご使用ください。

○消防避難訓練

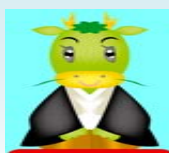
11月4日（金）に消防避難訓練を実施しました。今年は、全国各地で災害があり、当院でも緊張感のある訓練ができました。



○家族懇談会

3月10日（土）に家族懇談会を開催いたします。詳細につきましては、後日書面にてご連絡させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

うきうき編集後記



新年明けましておめでとうございます。年末年始にかけてこの時期は食べ過ぎてしまいがちですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

昨年は、良い意味でも、大変な意味でも人同士の繋がりの大切さを感じさせられる一年だったように思います。今年は、頑張っている皆様一人一人の想いが実り、今よりもほんわり温かで幸せな気持ちが広がっていく一年になればいいと感じます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

臨床心理士 小山 翼



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町大字和泉 704

TEL : 0493-56-3191 / FAX : 0493-56-4831

昭友会 HP : <http://www.kokoro.or.jp>

謹んで
新春のお慶びを申し上げます

4 疾病 5 事業から 5 疾病 5 事業へ

平成23年7月6日に厚労省「第19回社会保険審議会医療部会」において、精神疾患を医療計画に記載すべき疾患に追加することを合意しました。これによって、癌、脳卒中、心臓病、糖尿病の「4疾病」と救急、災害、へき地、周産期、小児の「5事業」で構成してきた地域医療の構成要素は“精神疾患”を加え「5疾病5事業」となりました。

その社会背景としては、精神疾患患者は323万人で、癌の152万人の2倍、4疾病で最も多い糖尿病の237万人をも上回り、患者数が多い事があげられています。特に、うつ病や認知症の増加が問題となっています。また精神疾患による死亡は、年間1万1千人で、さらに、年間3万人に上る自殺者の9割が何らかの精神疾患を患っていた疑いがあり、死亡者数が多く自殺対策が急がれています。ちなみに、埼玉県の場合、平成22年における自殺者の総数は1724人で前年に比べ24人減少しましたが、依然として1700人を超えています。また、このうち60歳以上が全体の35.9%を占めており、高齢者の自殺の頻度が高い事が深刻な問題となっています。

そんな中、医療提供の観点からは、地域での病院、診療所、訪問看護ステーションなどが、個々の機能に応じた連携を推進することが求められています。精神疾患の早期発見、早期治療(啓蒙活動)、正確な診断(専門家の育成)、救急体制の整備、病診・病病連携、患者の地域移行などを推進することが必要となってきます。

これらの事を受け、国は平成22年度補正予算で約7億5千万円をうつ病に対する医療等の支援体制の強化のために計上し、そのうち埼玉県には約3千2百万円が割り当てられ、既に埼玉県医師会を中心として「うつ病の診療・支援基盤の強化事業」がスタートしています。

このように、今後、精神医療が地域で果たす役割が大きくなる事は明らかであり、当院でも地域のニーズに合った質の高い精神医療を提供すべく、職員一丸となって努力していきたいと考えております。

最後になりましたが、本年も地域の皆様方、関係各所の方々には、ご支援ご協力のほどを何卒よろしくお願いいたします。

院長 磯野 浩